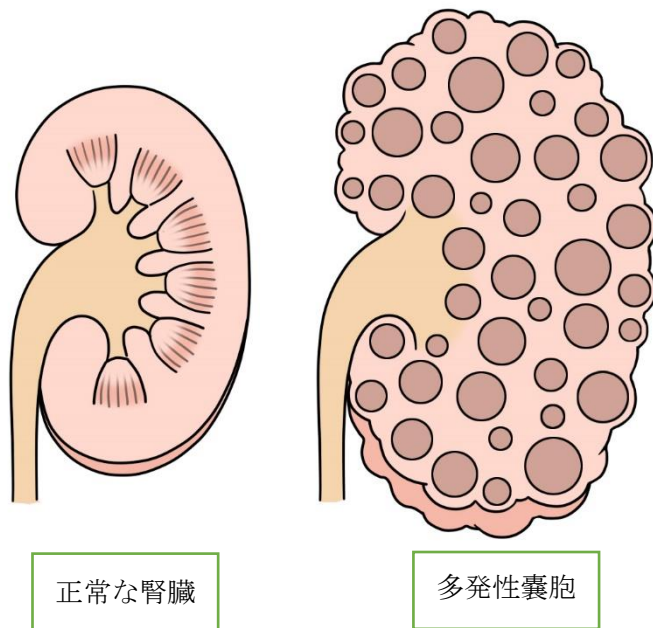


当院にて多発性嚢胞腎(ADPKD)の治療が可能です。

ADPKD は遺伝性疾患の中で最も頻度の高い疾患であり、日本人の約 4,000 人に 1 人の割合で認められることが分かっています。

この病気はこれまで特異的な治療法はなく、高血圧や腎不全に対する対症療法しかありませんでしたが、2014 年 3 月にサムスカ (トルバプタン) という薬が認可されました。この薬は、元々、心不全や肝硬変に対して使用されていた薬ですが、腎臓の嚢胞の増大や腎機能の低下を抑える効果があることが分かり、ADPKD に対しても処方可能となりました。

※ADPKD に対してサムスカを処方する場合どの医療機関でも処方できる訳ではなく、登録医のみ処方することができます。なお当院には 8 名の登録医がおります。



多発性嚢胞腎は、腎臓に嚢胞(のうほう)という水の入った袋がたくさんできて、腎臓の機能が徐々に低下していく病気です。

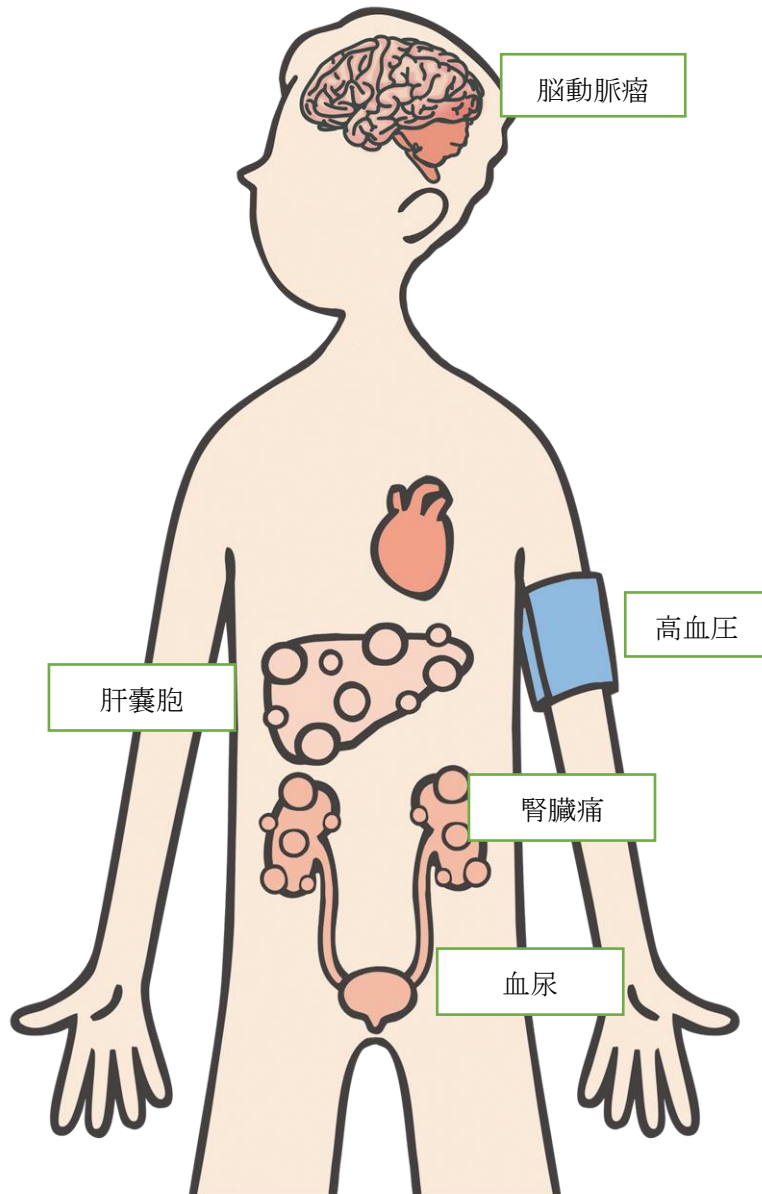
60 歳頃までに約半数の患者さんで透析や腎移植などの腎代替療法が必要となり、現在透析導入の原因疾患の第 4 位となっています。

またこの病気は遺伝性であり、ADPKD は 50%の確率で子へ遺伝します。

合併症について

多発性嚢胞腎には様々な合併症が知られています。

・高血圧・脳動脈瘤・嚢胞出血・感染・肝嚢胞など



多発性嚢胞腎に関する詳しい情報はこちらをご覧ください。

ADPKD 情報サイト ( <http://www.adpkd.jp/> )